

# 「肝細胞癌（HCC）における肝動脈塞栓化学療法（TACE） の治療効果予測スコア作成のための TACE 繰り返し HCC 症例 の後ろ向き検討」へご協力をお願い

—平成 17 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の間に当科において肝動脈塞栓化学療法  
の治療を受けられた方へ—

研究機関名	岡山大学病院消化器内科		
研究機関長	岡山大学病院	消化器内科	教授 岡田裕之
研究責任者	岡山大学病院	消化器内科	助教 中村進一郎
研究分担者	岡山大学病院	消化器内科	准教授 高木章乃夫
	岡山大学病院		診療講師 能祖一裕
	岡山大学病院	消化器内科	講師 白羽英則
	岡山大学病院	消化器内科	助教 大西秀樹
	岡山大学病院	消化器内科	医員 竹内康人
	岡山大学病院	消化器内科	医員 和田望

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の意義

肝臓癌はその進行度により様々な治療方法が選択されますが進行した肝臓癌においてはカテーテル治療を通常は繰り返し行います。しかし、その効果が不十分である場合、他の治療を選択することになりますが、治療の切り替えのタイミングは各施設間で異なっているため、明確な基準がありません。そのためカテーテル治療から他の治療への切り替えをスムーズに行うことができればより良好な予後が期待できると思われま

### 2) 研究の目的

肝臓癌の患者においてカテーテル治療を行うことが有効な症例と効果が期待できない症例を区別するための指標を作成することを目的としています。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

平成17年1月1日～平成26年12月31日の間に岡山大学病院および共同研究機関で肝動脈塞栓化学療法の治療を受けられた方のうち肝細胞癌の病態と予後に関する疫学調査に参加された方 136 名を研究対象とします。

### 2) 研究期間

平成28年4月26日～平成30年4月20日

### 3) 研究方法

平成17年1月1日～平成26年12月31日の間に当院において肝動脈塞栓化学療法の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに血液検査・画像検査のデータを選び、予後に関する分析を行い、治療に影響する要素について調べます。

### 4) 使用する試料

特にありません。

## 5)使用する情報

研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別
- ・ 血液検査データ、腹部 CT・MRI ・超音波検査などのデータ
- ・ 治療開始から観察終了日までの生存日数

## 6) 試料・情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後 5 年間保存させていただきます。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、消化器内科のホームページおよび掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

## 7)情報の保護

調査情報は岡山大学病院消化器内科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

## 8)研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、平成28年10月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 消化器内科

氏名：和田望

電話：086-235-7219（平日：9時0分～17時0分）

ファックス：086-225-5991